

動詞の活用 総復習

解答の根拠を確かめ、誤りの原因を振り返ろう。

基礎 | 分類の手順

問1

答え：バ行五段活用

解説 運ばない・運びます・運ぶ・運べば・運べと、バ行の音で五段に活用する。

問2

答え：バ行上一段活用

解説 浴びない・浴びますと、「び」を中心に活用する。

問3

答え：カ行下一段活用

解説 届けない・届けますと、カ行の工段「け」を中心に活用する。

問4

答え：カ行変格活用（カ変）

解説 こ・き・くる・くる・くれ・こいと不規則に活用する。

問5

答え：サ行変格活用（サ変）

解説 語の後半が「する」と同じ型で活用する。

問6

答え：未然形

解説 打ち消しの助動詞「ない」に続く形。

動詞の活用 総復習

解答の根拠を確かめ、誤りの原因を振り返ろう。

基礎 | 分類の手順（続き）

問7

答え：連用形

解説 丁寧の助動詞「ます」に続く形。

問8

答え：命令形

解説 命令して言い切る。「待てば」の「待て」は同じ形でも仮定形。

標準 | 文の中で判断

問9

答え：終止形／連体形

解説 前者は言い切り、後者は名詞「人」に続く。

問10

答え：仮定形

解説 接続助詞「ば」に続く形。

問11

答え：未然形

解説 意志を表す助動詞「よう」に続く。上一段動詞では未然形と連用形の形が同じことがある。

動詞の活用 総復習

解答の根拠を確かめ、誤りの原因を振り返ろう。

標準 | 文の中で判断（続き）

問12

答え：未然形／運ぶ

解説 五段活用の未然形には「う」に続く才段の形もある。

問13

答え：開け

解説 「開ける」は下一段活用で、未然形「開け」に「ない」が続く。

問14

答え：き

解説 「来た」は「きた」。連用形「き」に助動詞「た」が続く。

問15

答え：連用形／撥音便

解説 「飲み」が「飲ん」と変化した形。音便形も連用形である。「はっ音便」も可。

問16

答え：連用形／イ音便

解説 「置き」が「置い」と変化する。

応用 | 根拠を説明

問17

答え：切る：ラ行五段活用／着る：カ行上一段活用

解説 「切らない」と「着ない」で確かめる。基本形が「きる」と同じ読みでも型が異なる。

動詞の活用 総復習

解答の根拠を確かめ、誤りの原因を振り返ろう。

応用 | 根拠を説明（続き）

問18

答え：要る：ラ行五段活用／居る：ア行上一段活用

解説 「要らない」と「居ない（いない）」で区別する。

問19

答え：読み：こ・き・く／活用形：未然形・連用形・仮定形

解説 動詞部分は「こ・き・くれ」。第三の「来」という漢字の読みだけなら「く」で、語形全体の「くれ」と区別する。

問20

答え：バ行下一段活用・連用形。「た」につながることは活用形を判断する手がかりで、活用の種類を決める根拠ではない。

解説 調べない・調べますと活用する。種類と活用形を別々に判断する。この問では行の指定がないので、行名を付けない「下一段活用」も可。

問21

答え：行っ：促音便／乗っ：促音便

解説 「行く」はカ行五段だが、「行って」では促音便になる。

問22

答え：ガ行下一段活用。「泳ぐ」はガ行五段活用だが、可能動詞「泳げる」は下一段活用になる。

解説 「泳げない・泳げます」と活用する。「泳ぐ」の活用形の一つとして扱わない。この問では行の指定がないので、行名を付けない「下一段活用」も可。

動詞の活用 総復習

解答の根拠を確かめ、誤りの原因を振り返ろう。

応用 | 根拠を説明（続き）

問23

答え：A：命令形／B：仮定形／C：マ行下一段活用

解説 A・Bは五段動詞「読む」の形。Cは可能動詞「読める」。形の一部が似ていても同じ答えにしない。この問では行の指定がないので、行名を付けない「下一段活用」も可。

問24

答え：実行し・実行さ／どちらも未然形

解説 サ変動詞の未然形には「し・せ・さ」があり、後に続く助動詞によって使い分ける。「実行させる」は「実行さ」に使役の助動詞「せる」が付く。

確認テスト | 自力で総点検 | 100点満点

問25〔10点〕

答え：ラ行五段活用

解説 「帰らない」となる。「える」で終わる読みでも下一段とは限らない。

問26〔10点〕

答え：連用形／受ける

解説 「受けた」の動詞は「受ける」。助動詞「た」の前なので連用形。各5点。

問27〔10点〕

答え：仮定形

解説 下一段動詞「考える」の、「ば」に続く形。

動詞の活用 総復習

解答の根拠を確かめ、誤りの原因を振り返ろう。

確認テスト | 自力で総点検（続き） | 100点満点

問28〔10点〕

答え：撥音便

解説 「呼び」が「呼ん」となる。

問29〔15点〕

答え：やっ／連用形／やる

解説 「やっ」はラ行五段動詞「やる」の連用形の促音便。動詞部分・活用形・基本形各5点。

問30〔15点〕

答え：A：終止形／B：連体形／C：未然形

解説 Cの動詞部分は「来（こ）」。「よう」は助動詞で範囲外。各5点。

問31〔15点〕

答え：タ行下一段活用／持て

解説 可能動詞「持てる」は下一段活用。種類（行を含む）10点、語形5点。

問32〔15点〕

答え：正しくない。「起きろ（起きよ）」「来い」のように、「え」の音で終わらない命令形もあるから。

解説 五段の「読め・書け」から全動詞に一般化できない。二つの命令形各5点、適切な判断と理由5点。